

令和元年度避難地域復興拠点推進交付金 基金事業進捗状況総括表

【事業の内容】

(単位:千円)

No	事業名	事業実施主体	事業経費						目標	目標達成度・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了予定日・経費の使用法・内訳を含む)
			基金充当費		単独経費		合計				
			予算	決算	予算	決算	予算	決算			
1	川内村復興拠点整備事業(町分地区再生賃貸住宅土地造成事業)	川内村	164,737	77,770	35,263	0	200,000	77,770	<p>若者(子育て)世代の帰還者や移住者が魅力を感じ、住みたくするような住環境を整備し、定住人口の増加を図り、復旧復興を促進することを目標とする。</p> <p>1. 目標達成度 宅地造成工事の年度末の事業進捗率は27.5%であり、翌年度へ事業を繰り越している。</p> <p>2. 評価 令和元年度の台風19号により村内に甚大な被害が発生し、災害復旧を優先したため作業員の確保が難しく工期内完成が出来ず事業繰り越しとなった。令和2年度内の完成を目指し、令和3年度からは再生賃貸住宅の供用を開始する予定である。</p>	<p>1. 事業の目的 東日本大震災及び原子力災害により全村避難を余儀なくされ、その後、緊急時避難準備区域や避難指示区域が解除されたことに伴い、避難者の帰還が進み、令和元年9月1日現在の帰還率は全体で80.5%であるものの、若者世代(40歳未満)の帰村率が69.3%と低く、若者世代を呼び戻すことが喫緊の課題となっていることから、川内村の中心地域である町分地区に魅力ある住環境を整備し、若者世代の帰還促進や新規移住者の定住促進を図り、賑わいを取り戻すことで復旧・復興の推進を図ることを目的とする。</p> <p>2. 今回申請事業 町分地区復興拠点(町分地区再生賃貸住宅土地造成事業) 計画面積 9,260.05㎡</p> <p>3. 完了予定時期 基金造成:令和元年11月29日 工事完了:令和3年3月31日</p> <p>4. 経費の使用法 宅地造成工事:168,554千円 工事施工監理:7,205千円</p> <p>5. 算出根拠 別添のとおり</p> <p>6. 事業実績 町分地区宅地造成工事を発注したが、年度内に事業完了が難しく翌年度に事業を繰り越している。</p>	

令和元年度避難地域復興拠点推進交付金 基金事業進捗状況総括表

【基金の運用実績】

(単位:千円)

事業区分	基金の保有区分	令和元年度 当初保管額	運用益繰額	令和元年度 支出済額	令和元年度 年度末保管予定額
令和元年度 避難地域復興拠点推進交付金事業	普通預金	164,737	0	77,770	86,967
合計		164,737	0	77,770	86,967

※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること

※ 基金の保有区分は避難地域復興拠点推進交付金交付要綱第14条第4項で定める基金の運用方法を参考に記載すること

※ 運用益繰入予定額は保有区分ごとの利率を参考に見込み額とを記載すること

※ 支払済額は、当該年度内に支出負担行為を行い、出納整理期間に支出したものを含む。ただし、当該年度に債務負担行為のみを行ったものについては含まない。